

第6期幸区区民会議（第2回）会議録

日 時 平成28年11月24日（木）18:30～19:40

場 所 幸区役所4階第1・2会議室

出席者数 委員19人、参与0人、事務局15人

傍聴者数 0人

開始時間 18:30

新任委員への委嘱状の交付

司会（田村副区長）

本日は、お忙しい中お集まりいただきまして、ありがとうございます。

私は、幸区役所副区長の田村でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

第2回第6期幸区区民会議を開催するにあたり、事務局より御報告がございます。

幸区民生委員児童委員協議会から推薦をいただき、御就任をいただいております鎌田次男様におかれましては、御都合により退任することとなりました。同協議会からは、後任の委員として佐野禎彦様を御推薦いただいております。

つきましては、これより、第6期幸区区民会議委員の委嘱状を交付いたします。

〔区長から佐野禎彦委員へ委嘱状を交付〕

司会

佐野委員におかれましては、後ほど議事の中で就任の御挨拶と所属専門部会の御意向を伺う予定でございます。

1 開会

司会

それでは、改めまして、第2回第6期幸区区民会議を開催させていただきます。

引き続き、私が本日の会議の進行役を務めさせていただきます。

どうぞよろしくお願いいたします。

まず、配付資料の確認をさせていただきます。

〔資料確認〕

ここで、本日の会議の定足数を御報告させていただきます。ただいま委員総数20名のうち18名の出席を得ておりますので、川崎市区民会議条例第6条第2項の規定によりまして、本会議は成立していることを御報告いたします。

また、本会議につきましては会議公開の対象となっております。

〔会議公開、写真撮影、録音及び取材の確認〕

はじめに、成川委員長から開会に当たっての御挨拶と、引き続きの議事の進行をお願いしたいと存じます。

なりかわいんちよう
成川委員長

皆様、こんばんは。本日は第2回目の区民会議となります。

7月28日の第1回区民会議から、これまで各専門部会で2回ずつ会議を行ってまいりました。それぞれ活発な審議を経て部会ごとの取組の方向性も固まってきたようですので、本日はそうした点を中心に話し合いができればと思っております。本日も皆様から多くの御意見をいただきたいと思いますと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、本日の進め方についてですが、まず、「新任委員の所属専門部会について」と「幸区区民会議運営要領の改正について」、この2つの審議を行った後、「各専門部会の調査審議状況の報告」というメインテーマに移りたいと思います。

「各専門部会の審議状況の報告」では、まず、「人にやさしい交通安全部会」から説明をいただいた後に全体での審議、意見交換を行います。その後、「魅力発信でつなぐまちの活性化部会」から同様に御説明をいただいて、全体での審議、意見交換を行う、こういった流れで進めていきたいと思っております。

なお、本日の会議の時間ですが、20時頃を目途に終了できるよう進めてまいりたいと思っておりますので、御協力のほどよろしくお願いいたします。

2 議事

(1) 新任委員の所属専門部会について

なりかわいんちよう
成川委員長

それでは、これより議事に入ってまいります。

新任委員の所属専門部会について、審議を進めてまいりたいと思います。委員の交代については、冒頭で事務局から説明のあったとおりです。

それでは、11月から新たに委員となりました佐野委員より、就任の御挨拶をお願いいたします。また、所属する専門部会の希望についてもあわせてお話しください。よろしくお願いします。

きののいいん
佐野委員

皆様、こんばんは。この度、幸区民生委員児童委員協議会から推薦をいただきまして、この区民会議の一員とさせていただきます。民生委員の佐野禎彦と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

区民会議のことは、私もいろいろ聞いてはいたのですが、何せ初めての経験でございます。何ができるかわかりませんが、今までの経験を活かして、少しでも皆さんのためになるような、幸区がより幸せなまちになるような、暮らしやすいまちになってくれるような努力をしたいと思っております。

所属専門部会について、前任の鎌田さんはA部会におられたようですが、私はB部会に知っている方も多いものですから、できましたらB部会に所属したいと思っております。

おります。どうぞよろしくお願^{ねが}いいたします。

成川委員長

ありがとうございました。

ただいま、佐野委員^{さの いいん}からB部会^{ぶかい}「魅力発信^{みりよくほつしん}でつなぐ まちの活性化部会^{かつせいかぶかい}」への参加^{さんか}希望^{きぼう}がありましたので、希望^{きぼう}どおりの部会^{ぶかい}に所属^{しよぞく}していただき、ほかの委員^{いいん}の皆さん^{みな}とともに調査・審議^{しんぎ}を進めていくということによろしいでしょうか。

〔「異議^{いぎ}なし」の発言^{はつげん}あり〕

成川委員長

それでは、そのように決定^{けつてい}いたします。

(2) 幸^{さいわい}区^く区^く民^{みん}会^{かい}議^ぎ運^{うん}営^{えい}要^{よう}領^{りょう}の改^{かい}正^{せい}について

成川委員長

続きまして、幸^{さいわい}区^く区^く民^{みん}会^{かい}議^ぎ運^{うん}営^{えい}要^{よう}領^{りょう}の改^{かい}正^{せい}について、事務局^{じむきょく}から説明^{せつめい}をお願いいたします。

事務局

それでは、皆様^{みなさま}、資料^{しりょう}1を御覧^{ごらん}ください。幸^{さいわい}区^く区^く民^{みん}会^{かい}議^ぎ運^{うん}営^{えい}要^{よう}領^{りょう}の改^{かい}正^{せい}案^{あん}をお示^{しめ}しております。

今回の改^{かい}正^{せい}の目的^{もくてき}といたしましては、これまで第5期^{だい き}までの区民会^{くみん かい}議^ぎにおきまして、実際^{じつじ}に行^{おこな}われてまいりました運^{うん}営^{えい}内容^{ないよう}に合^あわせて、よりわかりやすく必要^{ひつよう}な事項^{じこう}を明^{めい}記^きさせていただくという趣旨^{しゆし}のものでございます。

なお、改^{かい}正^{せい}のタイミ^{たい}ングといたしましては、前回^{ぜんかい}、7月^{がつ}28日^{にち}開催^{かいさい}の第1回^{だい}全体会^{かいぜんたい}議^{かいぎ}とすべきところでしたが、事務局^{じむきょく}において、会^{かい}議^ぎにお諮^{はか}りする手続^{てつづ}きを失念^{しつねん}いたしておりましたため、この場^ばでお詫^わびを申し上げますとともに、改^{あらた}めまして、本日^{ほんじつ}、御審議^{ごしんぎ}をお願い申し上げる次第^{しだい}でございます。

具体的な改^{かい}正^{せい}点^{てん}につきましては、資料^{しりょう}の2枚^{まい}目^{めい}以降^{いこう}に新旧対照表^{しんきゅうたいしやうひやう}をお付けしております。まして、そちらを御参照^{ごさんしやう}いただきたいと存^{ぞん}じます。資料^{しりょう}の向^むきが統一^{とういつ}されておりますので、大変恐縮^{たいへんきようしゆく}でございます。新旧対照表^{しんきゅうたいしやうひやう}の左下^{ひだりした}のほうの第4項^{だい こう}を御覧^{ごらん}いただきますと、今^{いま}まで实际^{じつじ}に設置^{せつち}されてきました企画運^{きかくうん}営^{えい}会^{かい}議^ぎを、今回^{こんかい}、要領^{ようりょう}の中^{なか}に明^{めい}記^きさせていただいております。なお、これまでの位置づけといたしましては、1枚^{まい}おめくりいただき、右上^{みぎうえ}の改^{かい}正^{せい}前^{まえ}の欄^{らん}でございますが、第5項^{だい こうだい}第1号^{ごう}の後半^{こうはん}に「円滑^{えんかつ}な運^{うん}営^{えい}について協議^{きぎょうぎ}する部会^{ぶかい}」という表現^{ひょうげん}がございまして、そちらの規定^{きてい}に基づきまして、企画運^{きかくうん}営^{えい}会^{かい}議^ぎが設置^{せつち}されてきたところでございます。また、そのすぐ下^{した}の第2号^{だい ごう}につきましては、専門部会^{せんもんぶかい}の部会長^{ぶかいちやう}の選出^{せんしゅつ}に関する規定^{きてい}でございますが、これと同様^{どうよう}の規定^{きてい}が区民会^{くみん かい}議^ぎ条^{じョウ}例^{れい}施^し行^{こう}規^き則^{そく}にもございますため、今回^{こんかい}、重複^{ちゆうふく}的な記載^{きさい}を見直^{みな}しまして、第2号^{だい ごう}全体^{ぜんたい}を削除^{さくじョ}させていただいております。このほか、下線^{かせん}が引^ひかれている箇所^{かしょ}が今回の改^{かい}正^{せい}箇所^{かしょ}でございますが、企画運^{きかくうん}営^{えい}会^{かい}議^ぎに關する部分^{ぶぶん}を全体的^{ぜんたいてき}に修正^{しゆせい}い

たしております。

なお、以上の改正点により、今後、新たに仕組みが変わるというものではございません。繰り返しの御説明となり恐縮でございますが、実態に即して、よりわかりやすい表記に努めさせていただくために改正案を御提示申し上げる次第でございますので、御審議のほどよろしくお願い申し上げます。説明は以上でございます。

なりかわいんちよう
成川委員長

ありがとうございます。

ただいま、事務局から説明があったとおり、今回の改正は実態に合わせてわかりやすくするためのものですので、案文のとおり改正することによってよろしいでしょうか。異議ございませんか。

〔「異議なし」の発言あり〕

なりかわいんちよう
成川委員長

それでは、そのように決定いたします。

(3) 各専門部会の調査審議状況の報告

なりかわいんちよう
成川委員長

続きまして、「各専門部会の調査審議状況の報告」を議題といたします。

はじめに、A部会「人にやさしい交通安全部会」を代表して、小野副部会長から報告をお願いいたします。

おのいん
小野委員

それでは、「人にやさしい交通安全部会」の調査審議状況について、御報告いたします。今回報告する内容は、スライドのとおり6点となります。

この6点のうち、まず、部会の開催状況について御説明いたします。9月27日に行った第1回部会では、「正副部会長の選出」「審議テーマの選定」「部会名の検討」を行いました。また、10月20日に行った第2回部会では、「審議テーマに係る区の取組の調査」「今後の取組の方向性についての審議」「部会名について」を行いました。

次に、正副部会長の選出については、部会長は「阿部法弘委員」、副部会長は、私、小野が務めることとなりました。

次に、審議テーマの選定について御説明いたします。私たちの部会では、4つの審議テーマ候補案から、委員の話し合いにより絞り込みを行うこととしました。

候補案の1つ目は「生活環境面でのバリアフリーの推進」ということで、「高齢者や障害者などにやさしいまちづくり」や「歩道環境や区内施設利用におけるバリアフリー化の推進」などが課題として挙がってきたものです。

2つ目は「交通安全対策の推進」ということで、「高齢者や障害者などにもやさしい道路交通環境の整備」や「携帯電話やイヤホンを使用しながらの運転などの防止」

などが課題として挙がってきたものです。

3つ目は「地域防災活動の推進・地域防犯力の向上」ということで、「災害に備えた地域単位での防災活動の推進」や「隣接区との連携による地域防犯力の向上」などが課題として挙がってきたものになります。

最後に4つ目は「地域におけるエコ活動の推進」ということで、「エコ活動や区内の緑化推進」などが課題として挙がってきたものです。

このような審議テーマの候補の中から、私たちの部会では「交通安全対策の推進」を審議テーマにすることに決まりました。話し合いの中で上がってきた主な意見としては、「自転車は第1期からの検討テーマであるが、自転車に限らず、多くの区民に向けて交通マナーやルールを周知する取組が必要ではないか。」「夜間、道の段差で転びそうになったことがある。高齢者や障害者などにもやさしいユニバーサルデザインの推進について、検討を行ってはどうか。」「交通マナーやルールを周知するソフト面と、道路交通環境の改善を図るハード面の両方から、交通安全に関する幅広い事項について検討を行ってはどうか。」といったものがありました。

次に、決定した審議テーマに係る区の取組の調査として、区内で行われている交通安全に関する取組状況について、区役所危機管理担当と道路公園センターに、事務局を通じて確認を行いました。区内では、幅広い世代を対象とした交通安全に関する取組が行われていることがわかりました。その一部を御紹介いたします。

1つ目は、写真で言うと一番左に「交通安全キャンペーン」というキャプションが入っていますが、春の全国交通安全運動など、「各季における交通安全キャンペーンなどの実施」についてです。この写真は、今年9月に鹿島田駅前では幸区交通安全対策協議会と幸警察、区役所などがともに実施した「交通事故死ゼロを目指す日キャンペーン」の様子です。こうした交通安全キャンペーンでは、交通安全をPRするチラシや、夜道で自動車や自転車のライトが当たるとキラキラと光る反射材などの啓発品を配布しています。

2つ目は、就学前の子どもや小学生などを対象とした「交通安全教室の実施」についてです。中央の写真ですが、これは区内の学校などを会場として、平成25年度から実施しているステアードストレート方式の交通安全教室の様子です。参加者が交通事故の恐怖を実感することで、交通ルールを遵守するということを狙った教育でして、スタントマンなどを利用しているそうです。

3つ目は、「清掃車を活用した自転車ルール遵守の呼びかけ」についてです。平成26年度から、区内を走行するごみ収集車のスピーカーから、自転車ルールの遵守を呼びかけるアナウンスを流しています。

4つ目は、「交通安全ビデオの貸出」についてです。交通安全教室等の教材として活用できるDVD、ビデオを貸し出しています。

5つ目は、「川崎フロンターレと協働で実施する交通安全活動」についてです。川崎フロンターレの選手が自転車ルール^{せんしゅじてんしやるーる}の遵守について呼びかけるチラシやポスターを作成し、交通安全キャンペーンなどで配布しています。また、ポスターは、町内会・自治会の掲示板や区内自転車販売店、公共施設等に掲示しています。

6つ目は、写真右のものに該当しますが、「道路交通環境の整備」についてです。写真は、前方に十字路がありまして、建物や植栽等によって見通しが悪いため、注意喚起の路面表示を新設した道路です。

なお、取組の詳細は、本日お配りしている資料2の別紙に記載しております。

こうした区内で行われている交通安全に関する取組を踏まえつつ、部会の今後の取組の方向性について意見を交換したところ、「様々な立場の人が区内道路で危険と感じている箇所の調査」と「様々な立場の人を対象としたわかりやすい交通マナー、ルール^{しゅうち}の周知や意識啓発の方法の検討」について調査審議を進めていくことになりました。

話し合いの中で上がってきた主な意見としては、「交通事故にはいろいろなタイプがある。安全対策について幅広い視点で考えていきたい。」「高齢者と障害者、それから子育て世帯など、それぞれの立場によって、ヒヤリ・ハットを感じる箇所が違うのではないか。」「注意喚起の看板などは、日本語表記だけでなく、イラストなどで表示すると、子どもや外国人なども不自由を感じなくなるのではないか。」といったものが挙がってきました。

最後に、これまで審議してきた内容を踏まえ、私たちA部会の部会名を「人にやさしい交通安全部会」に決定いたしました。

以上で「人にやさしい交通安全部会」の調査審議の報告を終わります。ありがとうございました。

なりかわいんちよう
成川委員長

ありがとうございました。「人にやさしい交通安全部会」から報告していただきました。それでは、これから全体での審議、意見交換を行いたいと思いますが、まずはA部会の方で、今、御説明いただいた事柄について、加えることや補足することがありましたら、御意見を伺いたいと思います。A部会の方、いかがでしょうか。特に補足はございませんか。

〔「特にありません」の発言あり〕

よろしいでしょうか。それでは、審議事項としては、今後の取組の方向性などについてとなりますが、いかがでしょうか。御意見のある方、挙手にてお願いいたします。

いとういん
伊藤委員

「人にやさしい交通安全部会」ということで、審議テーマと部会名が決まったようです。交通・防犯・防災というテーマは、第1期からずっと続いています。今年の2

月20日に「幸区市民活動交流イベント」と第5期幸区区民会議フォーラムがあり、来場者アンケートを行いました。このテーマを地域の課題とする声が、やっぱり一番多くありました。交通・防犯・防災は、区民の関心が高く、幅広く奥の深いテーマだと思っています。取り組まれる中で、第1期から今までやってこられた成果を無駄にすることなく、それも精査しながら、もう一歩先へ踏み込んでもらえれば、なお一層良い成果が出るのかなと思います。

特に今回、魅力あるテーマだと思ったのは、「人にやさしい」というところです。ここが幅広い。やさしいというのは、子どもにとってもやさしい、高齢者にとってもやさしい、車にとってもやさしい、歩行者、自転車にとってもやさしいと、多方面に関してやさしいというところをテーマとして取り組んでももらえれば、なお一層良いのかなと感じました。

成川委員長

ありがとうございました。ほかにはございませんか。

今の伊藤委員の御意見については、小野さん、いかがでしょうか。

小野委員

はい。おっしゃるとおりだと思います。阿部部会長さんも、交通安全について長く取り組んでいらしたので、その点がやっぱり一番注意しなければいけないねとおっしゃっていました。肝に銘じて、「人にやさしい」取組を目指してまいりたいと思います。

成川委員長

よろしくお願いします。そのほか、いかがでしょうか。

よろしいですか。特にないようですので、次に移りたいと思います。

続きまして、B部会「魅力発信でつなぐ まちの活性化部会」を代表して、伊藤委員から報告をお願いいたします。

伊藤委員

それでは、「魅力発信でつなぐ まちの活性化部会」の調査審議状況について、報告させていただきます。スライドが正面に出ています。また、皆さんのほうにもお配りした資料が同じものですので、どちらを見ても構いません。ページ数等で説明させていただきます。今回、報告する内容は、スライドのとおり大きく分けて6点となります。

まず、部会の開催状況について、説明させていただきます。10月5日に行った第1回の部会では、「正副部会長の選出」「審議テーマの選定」「部会名の検討」を行いました。10月27日に行った第2回の部会では、「審議テーマに係る取組の調査」「今後の取組の方向性についての審議」「部会名の決定」を行いました。

次に、スライド12です。正副部会長の選出については、部会長は「神谷修委員」、副部会長は「阿部稔子委員」が務めることになりました。

次に、スライド13です。審議テーマの選定について説明します。私たちの部会では、3つの審議テーマ候補案から、委員の話し合いにより絞り込みを行うこととしました。

候補案の1つ目は「地域の魅力発信」ということで、「幸区の魅力をアピールして情報発信力を強化」や「地域の観光や商業資源を活かした街の活性化の促進」などが課題として挙がってきたものとなります。

2つ目は「地域コミュニティの活性化」ということで、「地域コミュニティの連携強化及び活性化」や「異世代間交流の促進」などが課題として挙がってまいりました。

最後、3つ目は「総合的な子ども支援」ということで、「小中高の児童・生徒及びその保護者の見守りと支援」や「子育てのしやすさの促進」などが課題として挙がったものとなります。

スライド14です。私たちの部会では「地域の魅力発信」を審議テーマにすることになりました。話し合いの主な意見としては、「子どもの支援など、いずれのテーマも根本では魅力発信とつながってくる。」「重要なことはさまざまな地域の魅力を発信していくことであり、『どの分野を発信』と限定して考えることではないのではないか。大きなテーマとしては魅力発信として、その中身については今絞る必要はないだろう。」といった意見がありました。中身まで絞り過ぎてしまうと、昨年、第5期でもやったように、地域のコミュニティの活性化に深入りしてしまうので、そうなる、いままでとまた同じような研究課題となってしまう可能性もあります。その辺を踏まえて、中身については今絞る必要はなく、今後、意見交換を行う中で、中身について考えていこうということになりました。また、「魅力発信の目的や、何が魅力なのかを適切に検討しなくては、単にPRしただけで終わってしまうのではないか」といった意見もありました。幸区では、次のスライド15にもあるとおり、発信できる要素は多くあるが、「いまいち浸透性がないね。」といった意見がありました。

その辺を踏まえてスライド15です。審議テーマに係る取組の調査として、区内で行われている魅力発信に関する取組や他都市等における先行事例について、事務局を通じて確認を行いました。その一部を紹介します。

幸区内の主な取組事例としましては、皆さん御存じのように、「夢見ヶ崎公園魅力発信事業」です。こちらは資料がちょっとないのですが、資料2の別紙9ページに一部記載があります。夢見ヶ崎公園は、市内唯一の動物園があり、区内でも有名なスポットですが、地元町内会・自治会等により構成する検討協議会で夢見ヶ崎公園の魅力向上に向けた検討がなされ、公園内のアクセス道や園路整備や樹木剪定等、協議会の検討を踏まえた整備を行いました。魅力発信に係る主な取組としては、周辺小学校とさいわい加瀬山の会が協働で実施している夢見ヶ崎公園の花壇花植えや、夢見ヶ崎公園のある加瀬山周辺の歴史資源を紹介した「夢見ヶ崎周辺歴史紹介

パンフレット」の発行などがあります。幸区にはなくてはならないスポットだと思えます。

次に、11ページ、12ページになります。「御幸公園梅香事業」についてです。区の北側にある小向一帯は、かつて梅の名所として栄え、観梅のために明治天皇が行幸された歴史があります。区では梅の植樹やイベント、散策路の整備など、区民との協働による御幸公園梅香事業を推進し、市制100周年に向けて、公園周辺の魅力を高める取組がなされています。平成27年度に御幸公園梅香事業推進会議を発足し、今年度は取組の一つとして歴史講演会が開催されますというパンフレットが載っています。

次に、ミュージアにつきましては13から18ページにあります。「ミュージア川崎シンフォニーホールで開催されますさいわいハナミズキコンサート」についてです。スライド15の中段右側に掲載されている写真がミュージア川崎シンフォニーホールで、音響性能では世界有数のホールという名高いものです。さいわいハナミズキコンサートは、そこで開催することによって区民が身近な場所で音楽に親しめる環境をつくる取組となっています。

次に、昨年からはじまりました「幸区ご近所支え愛モデル事業」についてです。区民が暮らしやすいまちづくりへの取組として、地域包括ケアシステムの自助、互助の取組を進めるために、幸区民が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることのできる地域の実現を目指して、事業を実施しています。これについては、別紙の25、26ページに記載されています。そちらのほうを見ていただきたいと思います。28年度は、8町内会・自治会で事業を展開して成果を上げているものとなっています。

ここまでの資料については、私たちの部会では、先ほどお話しさせていただいたように、すごく数の多いイベントがあって、幸区を魅力的だなと思わせるものがあるなという認識はしたのですが、他都市と比べた場合どうかということで、他都市の先行事例としましては、27ページにあります。これは千葉県流山市の「子育て世代をターゲットにしたキヤッチコビー」についてです。「母になるなら流山市。」と記されて、30歳代の子育て世代をターゲットにして、移住のためのPR活動として力を入れて、ある程度年齢層を絞ってPRしたことによって、実際成果も上がっているという取組の紹介です。

もう1つは次のページになります。「スポーツコミッションによるスポーツを活用したまちづくりや地域づくりの推進」です。これは島根県出雲市ですけれども、スポーツ型自転車が出雲市内の名所を巡る「たぴーら縁結びライドin出雲」というイベントを開催して、まちおこしをしたという紹介です。これを例にとれば、多摩川も当然、古市場陸上競技場もありますし、多摩川もランニングロード、ハーフマラソンもできるコースもありますので、それを生かして、十分これを活用すれば、できるのではないかと思います。

あともう1つありました。27ページの下の方で「多摩区の魅力を紹介する

サンプル動画を制作し、多摩区の魅力を広くPRです。この動画では、生田緑地を紹介しています。幸区にもある程度紹介できる材料があるんですけども、紹介の媒体とするものをいかにしたら良いかということも一つの課題として、今回は考えています。

スライド16になります。こうした魅力発信に関する取組を踏まえつつ、部会の今後の取組の方向性について意見交換をしたところ、「幸区の魅力となる地域資源の調査」と、「対象を意識した効果的な情報発信手段の検討」について調査審議を進めていくことになりました。話し合いの中で上がってきた主な意見としては、「区内でたくさんの取組を行っているが、あまり知られていないのではないか。取組を知ってもらい、その魅力をより高めていくべきだと思う。」「効果的にPRするためには、ターゲットを絞るべきだと思う。」「若い世代に向けて『幸区はこんなに楽しい区』、『住み続けられる区』であることをPRしてはどうか。」また、「幸区は『暮らしやすい区』と言える。交通の便が良く、商業や医療も充実しているということ、その辺をある程度の絞って今後活動していけばいいのではないか。」ということで、ある程度今後の方向性が出てきました。

最後に、これまで審議してきた内容を踏まえて、私たちB部会の部会名を「魅力発信でつなぐ まちの活性化部会」ということで、発信をつなぐということは媒体ですね。あとはまちの活性化部会ということで部会名をまとめてみました。

以上で調査審議の報告を終わります。ありがとうございました。

成川委員長

ありがとうございました。

それでは、今説明いただいた事柄について、加えることや補足するようなことがあれば、B部会の委員の方からお願いいたします。いかがでしょうか。特によろしいですか。

〔「特にありません」の発言あり〕

それでは、今後の取組の方向性などについて、今度はA部会の委員の方から御質問なり御意見があれば。

橋本委員

さいわい加瀬山の会の橋本と申します。ただいま、「夢見ヶ崎公園魅力発信事業」について説明がございました。私もさいわい加瀬山の会の一員として、まだ短いですが、2、3年活動しております。毎年、春と秋に夢見ヶ崎動物公園のお祭りがあります。お祭りでは、公園事務所の前あたりに、地域のボランティアの人とか、いくつかのグループがテントを4個か5個ぐらい出しています。あとは、動物公園が中心になって、動物の案内などをやってくれています。昨年までは、地域の商店街があそこで「日吉まつり」というのをやっておりましたが、これが今年からやらないというような状況が生まれております。その辺の活性を含めて、先日開催した秋のお祭りでは、

商店街にも声をかけまして、公園の広場のほうに幾つかテントを出すなど協力していただき、今までよりももっと広がりを持って、活性化してきている状況があります。そういった意味では、今年の秋については多くの人が集まりましたし、移動動物園も来たりしています。ヤギなどの動物とふれあうというのも含めて、幅広くあそこの公園内で企画をやっていけるような、そういう広がりがつながっていければ、今後もっと良いのかなと、地域の商店街の活性化も含めて、できたらいいなという感想を持ちました。

なりかわいんちよう
成川委員長

ありがとうございます。ほかにございますか。

あべ のり いじん
阿部（法）委員

私、B部会の皆さんのテーマはすごくいいなと思います。まず感じるのが、私、幸区に何十年と住んでいて、自分自身、幸区の魅力って何？と聞かれたとき、ぱっと答えられないんですよ。長い間住んでいる人間は、これが当たり前だと思っているのか、それとも、何もないのか。自分自身、今でもわかりません。何が素敵なの？と言われるとなかなか出てこないんですけれども、何が不便なの？と言われると、実は私の住んでいる地域から区役所に行くバスがないんですよとか、ぱっと出てくるんです。魅力発信が、昔から住んでいて幸区の魅力に全く気づいていない住民に発信するのか、それとも、流山市のように、外からどんどん移住していらっしゃいよというように発信するのかによっても、かなりいろんな切り口で違ってくると思います。そして、いろんな世代の人たちが、ああ、こんなまちに住んで良かったなと思えるような、いろんな発信の仕方、情報って今は金を使ってでも取りに行けと言われるような時代ですから、そういうところをどんどん深めていただいて、私にもわかるすばらしい幸区を教えてください。よろしく願いいたします。

なりかわいんちよう
成川委員長

ありがとうございます。ほかにございますか。

いじまいいん
飯島委員

資料2の別紙にある「竹炭電池カーを作って走らせよう!!」とか、幸区でこんなことをやっているのだなと、改めて知りました。私も非常にこういうことに興味があるので、こういう情報がなかなか私の目に入ってこないのがなぜかなと感じたんです。「科学とあそぶ幸せな一日」、子どもたちが科学に興味を持っていたくために、という知らせ方をしているのかなと疑問に思ったんですが、こういうことをもっとみんなに広くアピールする方法を考えていただきたいなと思いました。

なりかわいんちよう
成川委員長

ありがとうございます。ほかにはいかがでしょうか。

とりあえず、今お三方から質問や意見が出ましたけれども、伊藤さん、いかがでしょうか。

伊藤委員

先ほど、橋本委員から出ました夢見ヶ崎動物公園については私も関心がありまして、毎年お祭りにはお手伝いに行っているんですけれども、確かに子どもたちが、特に小さなお子さんが本当にたのしみにして、餌やりの整理券をもらって、なくなってしまったのを残念がって帰る子どもたちも見ています。その中で、確かに日吉商店街のお祭りがなくなってしまったのは、経済効果的にあまりメリットが出ないと判断したのか、今のこの御時世の中で縮小したのかわかりませんが、それも我々に課せられた1つの課題かと思っています。いかにあそこへ行くターゲットをある程度絞って、楽しい区の中の一環とするのか、そういう意味で、子どもをターゲットにした魅力とするのかということは、1つの課題として進めたいと思っています。そんな感じがしました。阿部さんの言われるのは、私たちもびっくりしました。いっぱい出てきたので、幸区の魅力というか、やっているイベントをみただけで、こんなにやっていたんだなと。我々自身も初めて見るというたら大げさですけども、1回や2回は耳にしたんですけども、何だろうなということが正直言っていました。ただ、それを本当に人に足を運ばせるとか、呼び込むには、やっぱりPRであったり、何かターゲットとなるものを絞り込む必要があるのだろうと。ここでもやっぱり今後の課題として十分考えていきたいと思っています。ありがとうございました。

あとは、今回はK²タウンキャンパスのほうから出たものと、あと、東芝未来科学館から出た部分が、我々もちょっとこの中には入れていなかったんですけども、十分これも活用できることだと思っています。まして、興味が湧いて、結構他地区からもバスで来て、見学をして帰るぐらいですので、それをうまく我々がPRベースに乗せれば、もっともって区民の方も、人を集めてまちおこしにつながるとおもっていますので、参考にさせてもらいます。どうもありがとうございました。

成川委員長

どうもありがとうございました。部長からありますか。

神谷委員

今、お三方の皆さんから御意見をいただいて、我々も、先ほど伊藤委員が言いましたように、私もずっと幸区に住んでいまして、どちらかというと南河原地区に思い入れが私もあるんですけども。ただ、加瀬山とか、幸区は3つの地区に分かれていますので、それぞれにいろんなものがある。それで、それこそ東芝未来科学館も駅前に出てきましたし、ミューザも駅前になります。ラゾーナもある。日本一の百貨店、そういうものがあるというところで、それをどうやって融合して皆さんに発信していくのか。また、今後の課題としては、誰をターゲットにするのか。幸区民にするのか、他都市の人にするのかということも一緒にあわせながら検討していきたいと思っていますので、よろしく御協力のほどお願いいたします。ありがとうございました。

成川委員長

ありがとうございました。有意義な意見交換ができたかと思いますが、そのほかにA部会の方から御質問等ございますか。特によろしいでしょうか。どうぞ。

青木委員

医師会のほうから出ております青木と申します。とても魅力的なテーマで感心しておりましたけれども、最後のところに「幸区は「暮らしやすい区」と言える。交通の便が良く、商業や医療も」と、ああ、医療が出てきたと思って、それで医師会のほうの働きですが、今、医師会ではケアマネジャーさん、介護のほうと連携して、長く幸区に、地元で暮らすためにというテーマで介護と医療の連携を図っています。何年か前からそういう動きがありまして、定期的にケアマネジャーさんの会と医師会でコラボレーションをしています。区民祭でもそういうブースを設けて、健康コーナーみたいなことをやらせてもらっております。

B部会さんのテーマとちょっとずれてしまうのかもしれませんが、医療のほうでも頑張っておりますが、少しアピール不足のところがありまして、医療あるいは介護ってこんなこともやっているんだよというような、それがもし魅力につながるのであれば、医師会あるいは介護のほう、ケアマネジャーさんのほうとか、協力できるかなとちょっと思ったので、一言追加させていただきました。失礼いたします。

成川委員長

ありがとうございました。そのほかございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、副委員長にそれぞれの部会の報告と意見交換の全体を通して、一言お願いしたいと思っております。

松井副委員長

ありがとうございました。A、B部会とも、まだ2回しか部会を開いていないのに、これだけ広く、深く、もうすっかり審議のほうに食い込んでいらっしゃるの、さすがに今までの第5期の委員の皆様のご努力をよくよく身に入れて、自分が第6期としての自覚を持ってここにいらしているなど、私は感心いたしました。A部会もB部会も、前期のものを多少、知識とかを引いてからこちらに来ていると思うんです。だから、さらにまた新しい委員の方も加えまして、委員の皆様の熱意で成果のあるものができそうだなということを実感いたしました。よろしくお願いいたします。

成川委員長

力強い発言をありがとうございました。

(4) 今後のスケジュール

成川委員長

続きまして、今後のスケジュールについて、事務局から説明をお願いします。

事務局

それでは、資料3を御覧ください。本日、第2回目の全体会議がございました。

今後につきましては、各専門部会におかれまして第3回目の部会が、人にやさしい交通安全部会が12月20日に、また、魅力発信でつなぐ まちの活性化部会が12月15日にそれぞれ開催される予定となっております。また、これ以降につきましても、資料に記載のように、1月、2月と各部会を開催し、調査審議を進めていただきまして、3月には第2回目の企画運営会議を挟みまして、第3回目の全体会議を開催していただくといったイメージとしてございます。具体の日程につきましては、今後、事務局から各委員宛てに御連絡の上、調整を進めさせていただきたいと存じますので、よろしくお願いいたします。

最後に、本日の資料には記載がございませんが、来年、2月6日には区民会議交流会がJR南武線の武蔵中原駅前にございますエポックなかはらにおきまして開催される予定でございます。各区の区民会議委員が一堂に会し、情報交換等を行っていただく目的で、これまでも毎年同様の時期に実施されてきたものでございますが、こちらの開催日程につきましては、以前にも各専門部会の開催時に事務局より口頭で御案内をさせていただいた経過もございますが、改めまして、今後、文書等を通じて各委員の出欠の御意向を確認させていただく予定でありますので、よろしくお願い申し上げます。

以上でございます。

成川委員長

ありがとうございました。

ただいま事務局から説明のあった今後の日程について、何か御質問等はございますか。

伊藤委員

今年の2月20日に行いました、先ほど私のほうからちょっと話を一部させてもらったんですけども、区民交流のイベントがまた来年もあるんですが、今回は発表の時期ではないので、それについては区民会議としては何も取り上げないのか。例えば中間でもいいから何かイベント、コーナーで区民会議の報告をするかどうかということとをちょっと話し合ってもらえればと思いますけれども。

成川委員長

事務局、お願いします。

事務局

交流会の中身につきましては、まだ検討中の部分がございます。ただ、立て付けとしましては、外部の識者から講演を冒頭しまして、講演を踏まえた意見交換を各区の区民会議委員が各テーブルに分かれてさせていただくような流れになると聞いておりますので、場合によっては情報交換をする場面がございますから、現状、今こんなことをやっているとか、そういうような意見交換も想定されております。今のところそのような状況でございます。

伊藤委員

7区の件ではないです。幸区の市民交流の件で話をさせていただきました。

事務局

改めて、事務局からでございます。2年間の取組を振り返りまして、成果の御報告をしていただくといった、第5期の活動成果も2月の下旬に市民活動交流のイベントが開催されたその際に、時間をとらせていただきまして発表していただいた、そのような経過がございました。その関係での御質問かと存じますが。

伊藤委員

はい、そうです。

事務局

はい。先ほどいみじくも伊藤委員からもございましたが、1年間終わった時点で、中間でやるかやらないかというところもございますので、調査審議の状況も踏まえまして、事務局としても、委員長、副委員長等にその発表の是非について御相談させていただきながら、実施に向けて、やる、やらないの判断をまた各委員の御意見も伺いながら、調整を図らせていただきたいと、現状はそのような考え方でございますが。

伊藤委員

私の言っている内容がちょっと伝わっていないような気がします。交流イベントが、たまたま区民会議の2年の発表の時期に合わせてやるから、今年はやらないという返事をもらえれば、それでいいんですけれども。要は中間報告をするかどうか。交流イベントについては、既に打ち合わせが始まって、シナリオ等、資料も1月にはまとめることになっていますので、今決めないと、多分それに乗っからないと思うんです。やるかやらないかだけ、とりあえず区民会議としては幸区の交流イベントには、今回は1年未満なので、まだ発表する段階にないのでやりませんということであれば、それは構いませんけれども、どうかと思ひまして、質問させてもらいました。

成川委員長

2月に発表の必要はないと思います。

ほかに、日程に関して御質問はありますか。よろしいですか。

それでは、今日の区民会議の主な審議を終わります。

3 その他

成川委員長

1つだけ、私のほうから皆さんに御協力をお願いしたいんですが、第6期が発足してまだ間もないですけれども、新しいメンバーも加わっておりますし、第5期も1回このメンバーで懇親会を開いています。できましたら、事務局にお願いして、次回の全体会議は恐らく3月ぐらいになると思うんですが、その会議の後にこの同じ庁舎で

簡単な懇親会を開くよう要請したいとおもいますので、その際はできるだけ御出席いただけるようお願いいたします。以上です。

あと、事務局のほうからは。

4 閉会 司会

ありがとうございました。本日の会議録につきましては、事務局で案を作成いたしまして、その後、皆様に郵送いたしますので、内容の御確認をお願いしたいと存じます。

それでは最後に、閉会に当たりまして、幸 区長の上野から御挨拶を申し上げます。

区長

皆様、長時間お疲れさまでございました。また、本日から新しい委員として御就任いただきました佐野委員、本当にありがとうございます。民生委員児童委員として大変長く経験をお持ちということで、私ども区役所も大変期待と頼りにしているところです。

部会もそれぞれ2回開催されたところですので、まだまだこれから審議が深まっていくかと思えます。先ほど松井副委員長からもお話しございました、2回と言いつつも、本当にこれだけ多くの課題を把握されて、その上で絞り込みをさせていただいている。まさしく私たちが区役所の職員が見ている方向性と、やはり方向性は一緒だなと。ただ、行政が見る課題と区民会議の皆様、区民の方々が御覧になる課題、視点、角度、やはり違いがあると思っております。先ほどもPRの仕方といったお話ですとか、これだけ情報が出ているのに自分たちは知らなかった部分がある。これは、見方を変えたと、私どももいっぱい、たくさん情報を出しているつもりなんですけど、届いていないんだなということで、反省をすべきところも多々あるということで、今日も認識を改めたところです。

今回のメンバーで、この第6期、まだ1年目途中ですけれども、さらに議論を深めいただきながら、この幸区が、どなたかもおっしゃっていただきました、住みやすい、住んで良かった、そういうふうにそれぞれが思っていける。そして、次世代の子どもたちに向けて、その大人の役割を一緒に果たしていけたらと思っております。

本日はどうもありがとうございました。

司会

それでは、これをもちまして第2回第6期幸区区民会議を終了させていただきます。本日はどうもありがとうございました。

終了時間 19:40